

日新

苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
日日新 ひ び あら 日々に新たに
又日新 また ひ あら 又日に新たなり

出典 「大学」

日新地区だより 67号

ゆめ
にっしん

「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：まちづくり日新 広報部会
福井市文京5丁目1-8 日新公民館
発行日：令和5年(2023年)9月13日

地球温暖化ではなく地球沸騰化の時代に

国連のアントニオ・グテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が来た」と警告しました。

8月の福井では35度を超える猛暑が延々と続きました。気象庁の9月の予想も暑さが続くとのことです。

世界的に見ても、アメリカでは気温が数十年ぶりに記録を更新し、テキサス州では27日間にわたって最高気温が37度を超えたそうです。イギリスでも今年6月の気温は1940年の最高記録からさらに0.9度高かったとの報告、中国では週末にかけて新疆ウイグル自治区で52度超と過去最高の気温を記録しました。また、北アフリカ、中東、アジアでもこれまでにない暑さに見舞われています。このような北半球における猛暑に対して、各国の気象庁は「世界の気温が高いのは意外でも何でもない、ずっと前から分かっていたことで、大気中の温室効果ガスを増やすのを止めない限り、異常気象は続くだろう」と言っています。そして、地表面の熱は大気ではなく海に蓄積されており、今年の春から夏にかけての海水温も過去の記録を更新しているそうです。(欧州連合コペルニクス気候変動サービス、ヨーロッパ中期予想センター)を参考にしました。



カナダの山火事

世界的な気温上昇は100%、人間の活動が原因だと各国の気象博士は言明しています。人類は約200年前に産業革命が始まるとともに、石炭、石油、ガスを大規模に燃やし始めました。その時から二酸化炭素(CO₂)の排出量は増え続けています。人間は便利さを求めて化石燃料を使い、進歩し続け無理が重なったように思えます。少しだけ足を止めて休む必要があるのかもしれない。

しかし、残念ながら、我々が努力したとしても、しばらくの間は気温上昇が続いていくと考えられます。ただ、人間活動による温室効果ガスの排出が、厳しい暑さに影響していることは疑いようがないので、まずは温室効果ガスの排出削減が急務でしょう。そのための政策は、国や自治体から打ち出されてはいますが、それを私達一人一人が実感し、支持するところがまだ足りないと思います。一人一人が声をそろえ、排出削減の取り組みを支持することで、国が打ち出す政策が実現に近づくとおもいます。

海水の温度が高くなると上昇気流が出来、ハリケーンや台風が大型になり多発することは直接的な影響でわかりますが、気温が高くなると私たち人間が熱く感じ健康状態も良くなるのと同じで動植物への影響もあり、私達の食生活にも直結します。現に野菜や果物は不作で、家畜である牛や豚も死んでいます。本当に大変な時期ですね。



日経新聞より



宇都宮でLRT 運行でCO₂削減を！！

世界各地で集中豪雨・大型化した台風・猛暑(酷暑)などの異常気象が増加しているように思えます。8月末のニュースで、宇都宮の街をLRTが走り始めたことを知りました。ご存知だと思いますが、私たちの福井では、福井鉄道とえちぜん鉄道の乗り入れで、随分前から走っています。福井では乗客が少ないために経営が難しいと言われています。宇都宮と福井では、地理的な環境なども異なり、運行本数にも差があるようです。しかし、同じ北陸の富山は経営は順調とのことです。なぜ、福井では・・・地域住民の意識の問題かもしれませんね。

LRTとは、低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する軌道系交通システムのこと 補足ですが、日新地区ではまちづくり日新実行委員会主催の「ミソハギ花まつり」を8月初旬に行っています。開催日には、CO₂削減の協力にもなるかなとの思いもありさんさんバスも運行しました。

8月6日(日)午後から 底喰川のミソハギ花まつり



今年とは違い底喰川流域では、ミソハギの花が咲き誇っていました。天気はいいとは言えないものの、未だ経験したことのない暑さの中、実行委員会の皆さんは、一週間前には底喰川の両岸に数十本の幟を立て、昨年と同様にまつり当日の午後からテント張り参加賞等の商品の搬入をし、準備に汗を流しておられました。暑い中での作業お疲れ様です。いよいよ、まつりが午後3時の最も暑い時に開催されました。数組の参加者は開催時前に受付に並びました。受付後ミソハギ観賞ウォーク約200mを歩きながらのクイズ、子供達は輪投げゲーム、秋吉による焼き鳥販売。参加者は136人でした。

準備中の実行委員とFCTVさん秋吉さん宜しくお願いします



テントの中も暑い熱いですよ!



今年のミソハギは如何ですか?



**今年も
無事に終わりました
お疲れ様でした**

日新地区でサッカースクール

鈴木 千津子

8月29日(火)PM5:30過ぎに啓新高校の人工芝グラウンド(県内唯一)にお邪魔しました。さっそうと現れたのは194cmの梅井大輝さん(34歳)。藤島中・丸岡高から横浜マリノスへ入団され、14年間のJ1~3、JFL、地域リーグと全てのカテゴリーを経験された元Jリーガーです。昨年怪我の為に引退し「次の自分の役目は、夢見る子供たちを後押ししたい」との信念の元、地元で子供向けのサッカースクールを立ち上げました。



主催する「マスターピースサッカースクール」は啓新高校芝グラウンドで

毎週火曜日と水曜日の午後6時~ 年少児~小学低学年児

7時~ 高学年

の指導

最高の環境で、サッカーの楽しさ・技術・強いメンタルを後輩たちに教えたい。素晴らしい選手(マスターピース=最高傑作)を育てたいとの熱い思いを感じました。

6時からのスクールでは、3歳児も含めた数人での基礎練習、それは微笑ましく見守るママさん達はもちろん、私達まで応援したくなるチビッコ勇士でした。

7時からは照明が点いた中で、夏井元気さん(33)、島田直弥さん(34)がコーチとして加わり16人の高学年教室が始まりました。 **夢はデッカク、将来のJリーガー誕生かも…!?**

一人でも多くの子供達がサッカーを楽しみ、健やかに成長されんことを願わずにはられません。



!! 藤島中学校の「総合的学習」で廣瀬館長講演 !!

6月27日藤島中学校にて廣瀬館長が現状の「まちづくり日新」についての講演を行いました。館長は「最初、藤島中学校は明新・西藤島・日新の3地区で構成されているので、日新地区のだけの話でいいのかなと?」と思われたようですが、生徒の皆さんは、予想に反しておよそ1時間の講演を熱心に聞かれました。内容は下記の通りで、「まちづくり日新」の現状の取り組みです。



- ①「底喰川の美化活動」・・・上流から流れてくるゴミなどによって川が汚れ、生き物の生態も変わってしまう。少しでも川を綺麗にすることを考えて、清掃や植樹を行っている活動
 - ②「さんさんバス運行」・・・地域の高齢者や弱者の交通手段として行っている事業で、事業継続の為に利用者促進が必要である。映画会、食事会、新ルートで人集めて対処。新企画も日々考えている
 - ③「広報誌ゆめ・につしん」・・・地域の広報誌として年間4回発行、年一回講演会(多彩なものを企画運営)
 - ④「ミソハギ花まつり」・・・年に一回8月に底喰川高水域に植えたミソハギを観賞し、川を大事にする
- 以上の活動を「まちづくり日新実行委員会」が中心になり、地域の人々と協力して、将来につなげることを意識しながら継続して行っている事を強調しました。

講演後には沢山の生徒さんから感想をいただきました。いずれの感想文も地区の人が底喰川の清掃やコミュニティーバス(さんさんバス)の運営努力に敬意と感謝を書いてありました。公民館に感想文はありますので、いつでもご覧ください。

言葉「ヤバイ」に悪戦苦闘

最近、意味が分からない言葉に出会うことはないですか? ここ数年間で一番わかり難い言葉は「ヤバイ」です。

広辞苑によると「本来の意味は(形容詞)不都合であり、危険である・けしからぬこと・奇怪なこと」と書いてあります。私は悪い事や危険なことが起こりそうな時に使う言葉だと思っています。しかし、今はいろいろな場面で使われています。先日、日本語講師をされている人にお会いしました。「ヤバイ」をどうやって説明するのか尋ねたところ。「この料理ヤバイです」を例にとって説明すると言われました。

(スラング的)おもしろい・楽しい・おいしいを意味する時には笑顔で、

(感動詞的)感動した・びっくりした時にはできる限り目を見開いて

(本来の意味)あやしい・困った・意味が分からない時には困った顔で

顔の表情で、会話の流れで伝えていきますと話していただきました。でも、無表情だと理解できますか?



コロナ感染症対策に手を焼いている毎日であります。「いったい何年前からの？」分からなくなるほど長い、ながいトンネルで出口が分かりません。さて、我が環境部会は主に野外活動ということで、コロナ感染症に負けず3月の第4日曜日から毎月、当地区のシンボルでもある底喰川の周囲の清掃や花植え美化に協力員が和気あいあいと、精を出していただいています。特に底喰川高水敷に咲き誇るミソハギの手入れには余念がありません。それと言うのも今年も「第7回日新ミソハギ花まつり」が開催される為、何としても綺麗に咲き誇ったミソハギを見学してもらいたく、自ずと清掃作業に力が入りました。しかしながら残念にも降雨がなく、猛暑の毎日でこれまでに見たことのない風景です。川の水をポンプアップしてミソハギ植込みに放水を試みるも効果無しでした。悪戦苦闘して迎えた「第7回ミソハギ花まつり」も運営委員さんの協力のお陰で無事成功させていただきました。今年度も残り3回の環境整備作業に努めます。



今後とも日新の底喰川を綺麗にしていこうと思われる方は是非ともお手伝いをお願い致します。



残暑が極めて厳しい折、住民の皆様如何お暮でしょうか？

ここ数年の新型コロナ禍の中で、温暖化も進み、猛暑の日々の中での生活が続いています。そんな経済環境が変わる中で、私達まちづくり交通部会も平成22年4月より取り組んでいるコミュニティバス運行事業も各住民の協力・支援を頂きながら13年を迎えるに到っております。コロナ前は1000名に近い数値を確保し、順風満帆にて推進している状況に有りましたが、コロナ禍(3年間)にあつては乗車人員数が100~150名位と最悪の状況に到りました。……

令和4年度中に10名(役所・業者・まちづくり役員)で、現行の推進企画内容を見直し、修正企画(ルート改正、新規停留所設置、その他)にて、令和5年4月よりスタートを切りました。現在、役所よりの基準割当数値は月次平均480名です。6月322名、7月357名と基準値に対し70~80%ぐらいの実績までに到っておりますが、8月197名と、外的マイナス要素(猛暑)があつたにしろ最悪の実績に到っております。

現在第3次コミュニティバス運行事業の査定中であり、一日も早く480名基準値の達成の為の体力と明るい材料とその成果を確立しまし

高齢者の長寿、健康保持の為に！ 笑い 対話 友達づくり 大切ですよ
積極的にイベント企画に参加をしよう
○映画に行こう(第2第4木曜日10:00~14:00)
○温泉に行こう(毎週月曜日 元気になるよ)
○ドンキーの日(第3土曜日バス無料 買い物)

よう。まちづくり交通部会はいつも明るく元気で住民の皆様と共に頑張るつもりです。積極的な協力、ご支援を宜しくお願いします。

8月の初旬の「ミソハギ花まつり」が無事に終了しました。昨日(9月1日)の気象庁発表によると、今年の8月の福井県は観測史上最も暑く、平均気温30.4℃(平均値27.4℃)、平均最高気温35.2℃(平均値32.2℃)を記録したとの報告です。この暑さのせいで底喰川沿いの「皇帝ダリア」は多数が枯れてしまいました。残念!!

朝の散歩コースに大きなコキアを見かけました。直径1.1mの緑色のふんわりと丸く繁った可愛い草姿です。家の方にこんもりと丸く育てるにはコツがあるのかをお聞きしたところ「水やりと肥料を葉には擦れず根の付近にこまめにすることです」と答えていただきました。秋になるとオレンジ色に変わり、そして赤色に変わっていきます。どこかホッとしますね。



暑い暑い夏が終わるかなと思っていたら、9・10月残暑はまだまだ続き、クーラー生活から抜けることは出来ないようです。